

2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（実籾小学校区）

1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

	H25 年 3 月		R5 年 3 月			備考
地区全体	10,241 人	⇒	9,655 人	★586 人の減少		
0 歳～ 9 歳	1,299 人	12.7%	771 人	8.0%	428 人	●全体として人口は減少し、65 歳以上の人口のみ増加 ●65 歳以上の人口数対生産年齢人口数比 ★1 人対 2.2 人
10 歳～14 歳					343 人	
15 歳～19 歳					470 人	
20 歳～29 歳					1,151 人	
30 歳～59 歳					3,877 人	
60 歳～64 歳	6,597 人	64.4%	6,133 人	63.5%	635 人	
65 歳～69 歳					534 人	
70 歳～79 歳					1,195 人	
80 歳以上					1,022 人	
	2,345 人	22.9%	2,751 人	28.5%	1,195 人	
					1,022 人	

2) 丁目ごとの標高

◆実籾

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	26.3m	43 番 6 号付近の道路	11.9m	22 番 15 号付近の道路	14.4m
2 丁目	24.4m	30 番 1 号付近の道路	11.4m	9 番田んぼ	13.0m
3 丁目	28.0m	36 番 18 号付近の道路	22.4m	27 番畑	5.6m
5 丁目	28.4m	23 番 30 号付近の道路	13.0m	34 番 1 号付近の道路	15.4m
6 丁目	28.4m	28 番実籾自然公園	13.0m	1 番 7 号付近の道路	15.4m

◆実籾本郷

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
	24.3m	3 番 35 号付近の道路	10.2m	26 番田んぼ	14.1m

◆新栄

丁目	最高	場 所	最低	場 所	高低差
1 丁目	27.4m	5 番 16 合付近の道路	19.2m	8 番 15 号付近の道路	8.2m
2 丁目	26.1m	1 番 5 号付近の道路	21.6m	11 番日大実籾入口県道	4.5m

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

丁 目	揺れ		液状化	河川氾濫	内水氾濫	高潮	土砂災害
	全壊	半壊	全半壊	氾濫	氾濫	浸水	
実籾 1 丁目	62 棟	104 棟	0 棟	なし	178 棟	なし	75 棟
実籾 2 丁目	46 棟	88 棟	0 棟	なし	67 棟	なし	12 棟
実籾 3 丁目	21 棟	54 棟	0 棟	なし	147 棟	なし	0 棟
実籾 5 丁目	72 棟	126 棟	0 棟	なし	129 棟	なし	81 棟
実籾 6 丁目	45 棟	68 棟	0 棟	なし	199 棟	なし	49 棟
実籾本郷	17 棟	42 棟	0 棟	なし	8 棟	なし	15 棟
新栄 1 丁目	25 棟	65 棟	0 棟	なし	150 棟	なし	8 棟
新栄 2 丁目	28 棟	44 棟	0 棟	なし	2 棟	なし	0 棟

4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	火 災	◆地区内に空き家が多いため、火災発生時に延焼被害が広がる可能性がある。
2	液状化	◆神社下地区は造成地で軟弱地盤であるため、家屋の崩壊や液状化が発生するおそれがある。 ◆以前からよく冠水を起こしているため、内水はん濫の危険性がある。
3	避難経路	◆地区内は道路が狭く、また一本道が多いため、災害時に1箇所 で障害が発生した際に通れなくなってしまう可能性がある。 ◆神社下地区では、倒木・法面崩れによって避難経路が閉鎖する可能性がある。
4	要配慮者対策	◆新栄地区、実籾6丁目は特に高齢化が進んでおり、高齢者や 独居老人が多い。

5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25 年ワークショップ

連番	区 分	意見等内容
1	防災対策	◆空き家の状況を管理し、適切な対応を検討することで、延焼の防止を推進する。
2	避難所・避難場所	◆神社下にある防災倉庫広場を、一時的な避難場所として指定することで孤立化の防止を図りたい。
3	危険個所の把握	◆子どもや高齢者の目から見た「自分の地域の危険な場所」について写真に撮るなど地区内の危険箇所の把握に努める。
4	要配慮者対策	◆個人情報に配慮した安否確認方法を検討する。 (町内会で前に作成した町内会名簿を活用し、1軒1軒ドアノック活動などを行っている)
5	防災訓練の実施	◆災害時の救出・救助活動に備え、チェーンソー等の資機材を使用した防災訓練を行なう。